

# 令和7年度別科助産学専攻推薦選抜試験問題

## 小論文

(時間：60分)

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は5ページ、解答用紙は3枚です。
- 3 問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は手を上げて監督員に知らせてください。
- 4 問題冊子の余白は適宜利用してかまいません。
- 5 解答は、全て解答用紙の所定の欄に、横書きで記入してください。また句読点も1字として1マスに記入してください。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収するので監督員の指示に従ってください。問題冊子は持ち帰ってください。

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

著作権保護の観点から掲載しません。

イチロー・カワチ：命の格差は止められるか ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業、小  
学館、2020（抜粋・一部改変）

問1 図1－1のグラフ中に示された点線は何を表しているか。30字以内で書きなさい。

問2 アメリカ国民の健康水準について、図1－1に示された位置からどのようなことが言えるか、  
50字以内で書きなさい。

問3 下線部1)について、著者がそのように考えた根拠を130字以内で書きなさい。

問4 下線部2)について、著者が肥満などへの遺伝の影響は限定的だと考えた根拠を90字以内で書  
きなさい。

問5 社会疫学の“上流”思考で肥満対策を考える場合、著者はどのようなことに着目すべきと論じ  
ているか、文中の語句を用いて項目を4つ書きなさい。

問6 下線部3)について、著者はどのように説明しているか。90字以内で書きなさい。

問7 看護の対象である人々の健康問題に環境が及ぼしていると思った体験と、それに対して必要だ  
と考えた看護について説明しなさい。